

## 第15回遠野市史編さん委員会 会議録

日 時	令和4年5月25日（水）13：30～15：10	
場 所	遠野市立図書館 視聴覚ホール	
出席委員数	9人中9人出席	
出席委員	荒田昌典、岩崎真幸（リモート）、大橋進、兼平賢治、熊谷常正、 今野日出晴（リモート）、斉藤利男、菅原伴耕、藤田俊雄	
事務局	海老寿子	市民センター所長
	朝倉優香	市史編さん室長
	前川さおり	市史編さん室次長
	小島芳枝	市史編さん室主任
	阿部信代	〃
	熊谷航	〃
	高橋唯	〃 主事

（進行：前川次長）

### 1 開会

### 2 委員長挨拶

### 3 報告（進行：大橋委員長）

#### (1) 令和2年度事業報告

#### (2) 令和4年度経過報告

事務局より資料にもとづき報告の後、各部長から発言。

- ・ 考古グループは、遺跡解説の執筆のほか、遺跡の関連データのまとめ方について具体的に協議する段階。
- ・ 中世グループは、遺跡資料編の原稿見本を提示。発掘していない遺跡をカラー写真入りで紹介したい。昨年11月に出した南北朝時代の原稿見本では、よその地域の資料を使いながら、日本の中の遠野がわかるような編成にしている。
- ・ 近世は、今年度が粗原稿を作る年。遠野南部家の近世文書や町場の資料を活用して構成。仙台藩領との境という特徴も目玉に。市史叢書は、解説が順調に進んでおり、今年度1冊刊行予定。
- ・ 近現代は、資料調査を進めている。その中で伝統と革新が絡まり合う思想的な動きが見えてきて興味深い。今後、資料調査を編目構成に反映させ、全体として地域の特色を考えていく。
- ・ 民俗は、今年度に具体的な体裁案や構成案を組み立て、絞った調査に取り組んでいきたい。遠野らしい、新しい試みをしていきたい。

### 4 協議

#### (1) 令和4年度事業計画案について

- ・ 考古グループは、11月の編さん委員会には原稿を作って臨みたい。
- ・ 中世グループも、ひたすら原稿を書いていく。

- ・ 近世は、全体像を示せるように、今年度末まで頑張って粗原稿を作成したい。
- ・ 近現代は調査を進め、それをもとに編目構成に活かして全体像を考えていく。
- ・ 民俗は、個別調査が主となるので情報共有の手立てを検討したい。また、近現代とも絡むが、写真集のようなものできないか。  
⇒ 近現代とすり合わせながら、DVDに収めるなどの方法を検討する。
- ・ 画像は、どの方式がアーカイブスとして適切な保存方法なのか検討を。
- ・ 生活改善運動は、民俗だけでなく近現代も関係あり。部会同士でも資料の共有ができることが必要。
- ・ 市史叢書「御用留書」は、刊行計画の見直しが必要では。  
⇒ 2年に1冊の刊行予定だが、編さん事業が完了する令和9年までには終わらない。予算の問題もあるが、事業が終わっても叢書の発刊は続けたい。

## (2) 資料編、通史編及び民俗編のタイトルについて

案のとおり承認。

通史編のタイトルは「原始・古代・中世」ではなく「先史・古代・中世」とする。

## (3) 資料編の仕様について

- ・ 印刷仕様で資料編全体に共通する部分と、部会ごとの判断になる部分はどこか。  
⇒ 刷色でオールカラーとなるのは考古のみ、ほかはモノクロ・一部カラー。組体裁、口絵、写真・図版類は部会ごとで、ほかは共通。
- ・ 一部モノクロとあるが、オールカラーにして見出しなどに色を入れると見やすいのでは。  
⇒ 二種類の見積をとって見て、予算を見ながら検討する。
- ・ 編集業務にある、遠野の歴史・文化を表すデザインをどうするかが大切になる。
- ・ 業者選定は、安いだけで選ばず、ある程度経験のあるところを選ぶほうがよい。
- ・ DVDを付けたいという話をしてきたが、結論はどうか。  
⇒ 予算に収まれば、各巻で必要に応じてDVDを付けてよい。
- ・ DVDを付ける場合、保管時に潰れて傷まないような配慮がほしい。
- ・ DVDは劣化する可能性があり、長期保存データはHDに入れる等対策が必要。

## 6 閉会